

近火御見舞御禮

昨夜近火の際には早速御馳付消防に御盡力被下され、幸ひ類焼を免れ候につき、御安心被下度一々拜趨御禮申述可き處、混雑中御尊名伺洩れも可有之と存じ乍略儀以紙上御厚禮申上候

十月二十六日
攝穂小路 (イロハ順)

- 市原伸二
- 色川勝三
- 長谷川浩太
- 堀里喜一
- 大須賀金丸
- 大野彦太
- 高林久藏
- 小野久
- 菊野一
- 草野ヤ
- 鷺谷三
- 緑川喜三
- 門川清
- 門間淺次
- 瀨尾善之

謹啓昨夜近火の際には早速御馳付消防に御盡力被下され、幸ひ類焼を免れ候につき、御安心被下度一々拜趨御禮申述可き處、混雑中御尊名伺洩れも可有之と存じ乍略儀以紙上御厚禮申上候敬具

昭和二年十月二十六日

- 海老原章四郎
- 大和田佐四郎
- 吉根ハツ
- 吉田廣三郎
- 助川彌
- 矢野カネ
- 前澤文太郎
- 酒井喜代正
- 酒井猶次
- 佐藤長
- 鈴木兼正
- 鈴木兼正

近火御禮

昨夜近火の際には早速御馳付消防に御盡力被下御蔭様を以て大事に至らず候段、難有奉深謝候一々拜趨御禮可申上は、ずの處混雑の際乍略儀紙上を以て御禮申上候

十月二十六日

- 馬目支店
- 味岡之松
- 橋本波貴知
- 仲里文平
- 堀江工業會社
- 四倉銀行出張所
- 田村岩雄
- 日進堂製板所
- 吉田五平
- 根本長一
- 阿部石炭部
- 清宮運送部
- 渡邊十太郎

謝近火御見舞
平町舊城跡
辯護士大嶺庫
(番三六五話電)

謝近火御見舞
海老原章四郎
攝穂小路

謹啓昨夜失火の際には早速御馳付消防に御盡力被下御蔭様を以て大事に至らず鎮火致し候段難有奉深謝候一々拜趨御禮可申上は、ずの處混雑の際とて乍略儀紙上を以て御厚禮申上候 敬具

十月二十五日
丸はん
佐々木喜代正



刊夕日六十二月十

定額 一月五圓 三月十五圓 半年三十圓 一年六十圓
零售 每份五分
印刷 東京印刷局
電話 六三〇番

日刊 發行部攝穂小路 電話六三〇番

我が廢娼問題

久布白實氏談

現人婦人が第一に要求したものは公娼制度の撤廢であります。世には社會政策上又は衛生風紀上その他種々の理由から反對の意見を述べる人もありますが、それ等の議論はその根本に於て正しいものと云ふことは出来ないと云ふべきです。婦人も人間であるとして云ふ見解を進めるならば如何に社會政策の爲めとは云へ弱い婦人を以て人肉の市にさらしものにしてはならぬと云ふ理由は立たないでせうかと

へ又一種の風紀衛生の上からと雖も、黒奴にさへも強られなかつた非人道的な奴隷制度を同性同族の一部の婦人に強なければならぬこともあります。一部の反對論者は良家の子女を保護する爲めなど、叫びます。が愚論も亦甚だしく云はなければなりません。家あり、父母あり、資産あり、教養ある良家の子女の保護のためには、家なく、父母なく、殆ど無きに等しい(資産なく、教養なき)婦人をして飽なき肉慾の犠牲とするは極矛盾も亦此處に到つては極まれりと云つてよいでせう

問題は、勿論賣淫問題は國家の生命と共に長く戦はれ且性に對する教育は永久に繼續せられねばなりません。然し乍らこれがために賣淫を公認し、之を商業化し、更に組織的な資本主義の上に立つたる營業を爲すことは國家の一大汚辱とも云ふべきでありませう、近く松島遊廓事件の如き此の肉市の營業化が如何に深甚に社會人心を毒しつゝあるかを立證し得て餘りあるものと申されませう、最早單に國內的婦人問題としてのみならず、これを國際的問題としてその開放、廢娼の時期に直面して居ります。

昨夜丸はんの 家具工場全焼す

原因は竈の残火 損害二萬餘圓

平町三丁目家具商丸はん佐々木喜代治氏の操揚小路工場より昨二十五日午後八時頃發火し消防組必死の努力により全所一棟百七十餘坪を全焼したのみで同三十分鎮火したが附近には平商業半陽兩學校其他大建物が多い場所柄として一時は非常の混雑であつた原因は同工場製板竈の残火にて損害二萬餘圓に達する

失業者の群

路頭に迷ふ 深刻をきわめる 平地方の不景氣

不景氣風は止めどなく吹きまくり弱い人間達を何處まで吹けらるであらうか？平町地方は常磐炭界の不振から疲弊困憊其極に達した失業者の群はドン／＼増加し此の頃職業紹介所の門を潜る者は毎日數名からある之等求職者の大半は男で商店員や事務員等を志望してゐる、各商店、官衙銀行、其の企業會社等は悉く不況の影響を受け緊縮一點張りで中には休業同様な状態でも之が開拓に困りぬいてゐる、夫に昨今では女の求職者も見えて来たがこれは最近の不景氣から女子が職業的に目醒めて来た結果で

喰ひ物に 人事相談を

悪化する自由労働者 昨今の平地方

別項の様な事情から平署の人事相談所は最近めつきり取扱ひ事件が増加して来たが最も多いのは依然として搜索願である次が説諭願保護願の順であるが

最近同所

の取扱ひ事件はやゝもすれば刑法上の問題となる様な搜索願ひでも従來の様な單純な出稼ぎや駆け落の様な類ではなく、甘言を以て誘拐された形跡あるといふ様な類で説諭願ひの如きは従來は伴の歸宅方を再三促したが更に歸宅の意志がないから説諭願ひたいといふ様な問題ではなく、店員を欺き商品を無理に持ち去りその後代金を請求して毫も支拂ふ意志がないから手数を煩はしたいといふやうな願ひの繁雜な

問題ばか 小名濱港修築費 大藏省議で削除

遂に努力も空しく 無残にも一蹴さる

各省明年新規事業査定に關する大藏省議は二十四日午後一時讀會、内務、大藏、陸軍三省の査定に入り内務大藏兩省所管は大体決定し陸軍省は七分通り決定を見六時散會した、因に大藏省所管に付いては二十七日更に省議を開き最後の決定を爲す豫定である、内務省の臨時港灣調査會で修築費を指定された小名濱港は無残に一蹴された

石城米價安

一駄約廿圓

石城郡地方には目下會津其他各地の新米が入り込時價一駄二十二圓前後で取引されてゐるが石城郡地方の新米出廻りは十一月下旬頃で此の調子で進む時は石城郡



こんぶの砂糖漬

板昆布を適宜に切り、水に浸して柔らかくなつた時、ぬるま湯に入れて粘り氣を除いて水氣のなくなるまでか

伏見町長出席 嬰兒殺し 豫審に附さる

屍体の解剖

四ツ倉町警署セメント株式會社職工長谷川新吉(三三)にかゝる嬰兒殺害事件は直に福島地方裁判所平支部の豫審に附され遠藤豫審判事の手まで取調中であるが、二十四日夕刻平町の藤沼醫師は四ツ倉町に急行し遠藤豫審判事立會のもとに屍体解剖を行つた

石城百景に 當選祝賀會

小川村井田信誠所附近一帶は本縣名所百景に當選したので來る三十日當地では祝賀會を開くと

湯本町の 爭議持久戰

罷業團もみち狩

石村湯本品川白煉瓦の労働爭議は開戦以來既に十二日及び愈々持久戰に入つた二十四日は職工百九十名全

募集

文藝其他投稿を募集します

第二次地方官更迭 伊東知事休職か

範圍狹少ながら 注目されるその結果

(東京電話)政府は十一月下旬頃地方長官の更迭を断行する豫定であつたが最近後藤臺灣總務長官の進退問題が急迫して來つたのでこの機会に地方長官の更迭をも同時に解決するを有利なりとし異動の

時期も 多少早める

模様である、異動の範圍は既報の如く七、八府縣で後藤總務長官の後任は潮内務省地方局長が榮轉するこ

とは疑ひのない所である、潮地方局長の後任には河原田社會局労働部長の拔擢を見るべく又勇退せんとする平塚東京府知事の

後任に

田邊大阪知事が擬せられて居る又は休職組と決定してゐるのは牛塚(宮城)末松(廣島)伊東(福島)

の三知事でその後轉任を見るべきは宮崎内務、太木局長、小畑知事等である

木炭聯合品評會

東京管林局管内官行木炭聯合品評會は來る十一月九日から同十五日まで七日間平町元郡役所裏に於て大々的に開催されると

四倉地方 爭議で不穩

磐城セメント

石城四倉町を中心として附近町村一帯に亘る例の磐城セメント會社の工夫罷業問題に付ては既報の如くであるが之を機として這般山岳一部は或種の手段を試みんとしてゐるが土農民は早

平町の 貯金額の増加

平郵便局の窓口から見た平町の經濟界は何んものか九月中の貯金受付口數五千三百三十四の金額五萬五萬四千五百九十一錢で前年同期に比する口數においては六百六十一口の減少だが金額では三千四百二十八圓三十四錢の増加を見てゐる口數の減少は不景氣の結果中産階級以下の金廻りが非常に悪くなつたためで新

昨今の財界

規のものは殆んどない反對に金額の増加せむは財界の大動搖以來一般銀行預金者のため銀行預金の一部を郵便貯金にしてゐる結果であらうと、而して本月に入つてからは當局が勤儉デーや何のと宣傳に力めてゐる結果もあるがドン／＼口數が増加してゐる是は昨來新米が出廻り米分農村の金融が潤つて來たためであらうと

稻荷祭禮

四倉町磐城セメント株式會社の稻荷祭典は來月三日から二日間盛大に開催當日は従業員の花角力並に素人芝居等があり準備に忙殺されてゐる

悪い者ばかり之も不況のちまたが生んだ昨今の悪化せる社會相の一端だらうと係員は語つてゐた

る全國水道協議會へ列席のため廿四日夜出發した